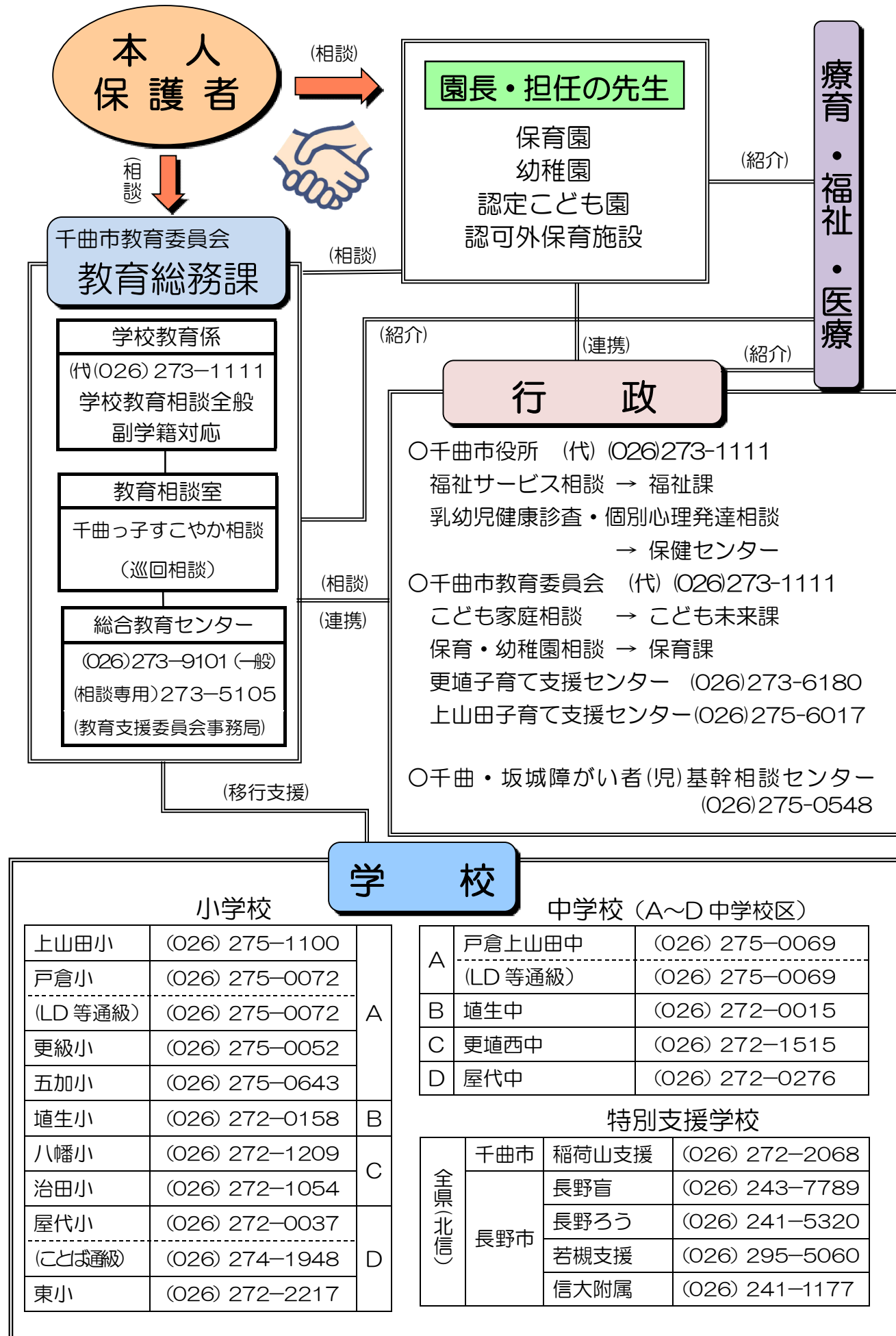


千曲市就学相談支援マップ



保護者の皆様へ

千曲市教育委員会 教育総務課

早めの気づきがより良い支援の第一歩

気になることはありませんか？

- ・友だちがなかなかできない。
- ・人の嫌がる事をして、トラブルになる。
- ・ごっこあそびやルールのある遊びが苦手。
- ・順番が守れない。
- ・いろいろなところに気が散って落ち着かない。
- ・人混みや大きな音・光などの刺激が苦手。
- ・一人で遊ぶことが多い。
- ・落ち着いて座ってられない。
- ・話を最後まで聞かずに行動する。
- ・整理、整とんがうまくできない。 など

悩むより、早めの相談を

まずは相談

保護者から担任(園長)先生へ
⇒ 園長(担任)から相談機関へ
⇒ **相談員**がうかがいます

お子さんのことを教えてください

- ・これまでの成長の様子
- ・家庭での様子(家族とのかかわり・身の回りのこと)
- ・保育園、幼稚園、認定こども園、療育機関等の様子(友だちとのかかわり、指示理解、発語、集団生活等)
- ・病院等での診断の状況
- ・発達検査結果や所持手帳等

必要な支援は？

学校生活の中で、
お子さんにとって
・どのような支援(内容)が
・どのくらい(程度・量)
必要なのでしょう？

相談機関は 4 ページをご覧ください

実現するには？

□就学先は？
□適切な学びの場は？
・お子さんにとって、
どこで、だれと、どのように
学ぶのがよいか相談しましょう。

就学先(学びの場)は
どうやって決めるの？

→2 ページへ

<就学先（学びの場）を決める大事な３つのポイント>

その①

お子さんの学校生活をイメージしましょう

- ・毎日充実し、楽しい時間を過ごせるかな？
- ・授業の内容が分かるかな？
- ・学習活動に参加している実感、達成感がもてるかな？
- ・生きる力（自分で考え、自ら行動する力）を身につけられるかな？



その②

学校（学級）見学・体験学習をしましょう

お子さんにとって、必要な支援が適切に行われるには

- ・「通常の学級」がっているのかな？
 - ・「特別支援学級」がっているのかな？
 - ・「特別支援学校」がっているのかな？
- ⇒ **多様な学びの場** ※詳細は３ページ参照

□支援の形や内容は、学校の規模・地域や学校の状況によってちがいます。

早い段階から、学校見学や体験入学をし、お子さんが落ち着いて安心して学べる場をさがしましょう。

※見学希望のある場合、在籍園（園長）を通して学校と連絡を取ります。

その③

千曲市教育支援委員会がサポートします

【委 員】

- ・校長会・教頭会・園長会の代表者
- ・稲荷山医療福祉センター（医師・MSW（※）・心理士）
- ・小学校、中学校の特コ（※）
- ・学校心理士、公認心理師等専門家
- ・特別支援学校教育相談・自立活動担当者
- ・千曲市教育委員会、センター代表者
- ・千曲市教育相談員、SSW（※）、CS（※）

※MSW：医療ソーシャルワーカー
※特コ：特別支援教育コーディネーター
※SSW：スクールソーシャルワーカー
※CS：チャイルドサポーター

【調 査 員】

- ・市内小中学校特別支援教育関係者
 - ・稲荷山支援学校教諭
 - ・通級指導教室（ことば・LD等）担任
- ※LD：学習障がい

○お子さんの担当になり、面接・
懇談・検査等を行い、委員会に
報告書を提出します。

事務局

千曲市教育委員会
千曲市総合教育センター

就学先の決定（11月～12月）

- ・就学先決定には、保護者（本人）の考えや気持ちを最大限尊重します。
- ・上記①～③の様子をふまえ、千曲市教育委員会が最終決定をします。

<多様な学びの場>

通常の学級（1学級35名まで・担任1名）

- ・学習形態・・・担任による指導（基本）
- ・各 学 校・・・特コ（※）を配置。
特コを中心とした「校内支援委員会」の中で「個に応じた必要な支援」の話し合いを行う。
- ・支援の形・・・合理的配慮、特別支援教育支援員の学級配置、複数の先生による授業（チーム・ティーチング）等。
- ・環境設定や授業づくりのUD化（※）

※特コ：特別支援教育コーディネーター

※UD化：ユニバーサルデザイン化

特別支援学級（1学級8名まで・担任1名）

□知的障がい学級

- ・学習・・・お子さんに適した学年の学習内容に変えることができ、日常生活に即した必要感のある学習が可。
- ・自立活動・・・学習（生活）の困難の改善、克服を目的とした学習。特設または学校生活全体で行う。

□自閉症・情緒障がい学級

- ・学習・・・原則として当該学年の学習内容。必要に応じ、下学年の目標や内容に替えることが可。
- ・自立活動・・・学習（生活）の困難の改善、克服を目的とした学習。

□その他の特別支援学級は現在設置なし

通級指導教室

- ・対 象・・・通常学級に在籍する「言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害」等の児童生徒。
- ・学習形態・・・通常学級での学習と、個々の障がいの状態に応じた指導。（自立活動 等）
- ・指導の場・・・通級指導教室又は学校訪問指導。
- ・指導方法・・・月に1～4回程度の個別（小集団）指導。
- ・通 学・・・保護者の送迎（付き添い）
- ・出 欠 席・・・出席扱い。



千曲市にある通級指導教室

ことばの教室 屋代小（坂城小）

- ・発音が気になる。
 - ・発音に誤りがある。
 - ・話すときにつかえる（吃音）。
 - ・同じ音を繰り返す。
- 等の困難さを抱えるお子さんのための教室



LD等通級指導教室 戸倉小・戸倉上山田中（サテライト：屋代小・東小・各中学校）

- ・計算だけが苦手等、特定のものが苦手。
 - ・コミュニケーションがうまくとれない。
 - ・感情のコントロールがうまくいかない。
 - ・場面の切り替えが苦手。
 - ・集団に入りにくい。
- 等の困難さを抱えるお子さんのための教室

特別支援学校（稲荷山支援学校）

- A 肢体不自由があり、日常生活における基本的動作が困難なお子さん。
- B 上記の状態の程度ではないが、常時医学的観察指導を必要とするお子さん。
- C 知的発達がゆっくりで、生活面（トイレ・食事・着替え等に多くの支援が必要）や行動・コミュニケーション面（集団が苦手、常に見守りが必要、意思疎通が困難等）で常時支援が必要なお子さん。

学 校 の 様 子

- ・各部・・・訪問教育部、小学部（小学校相当）、中学部（中学校相当）、高等部（高等学校相当・入学試験有り）。（医療的ケアや訪問指導も行われています。高等部には、更級分教室が更級農業高等学校内にあります。）
- ・児童生徒数・・・訪問教育部（2名）、小学部（110名）、中学部（73名）、高等部（145名）（令和8年度）。
- ・学習（内容）・・・「教科学習」「生活単元学習」「自立活動」「日常生活の指導」「あそびの指導」等。
- ・通学・・・・・・スクールバス、保護者送迎、公共交通機関利用等。市内外から通学しています。
- ・寄宿舎・・・・・・基本的生活習慣の確立や社会性の伸長を目指し、自立への意欲を高めます。
- ・副学籍・・・・・・居住地の小中学校にも籍を置き、交流及び共同学習を行います。